

## ー土石災害から地域を守る7基の砂防堰堤が完成ー

【災害発生】H27年関東・東北豪雨により日光市芹沢地区では、全壊5戸、半壊1戸、負傷者2名をはじめとし同地区に壊滅的な被害が発生。

【対策完成】地域の復興、住民の安全を確保するため、土石流災害対策として整備を進めてきた砂防堰堤7基が令和3年7月に完成。

【完成式・記念植樹】日光砂防と日光市が完成式が開催。災害当時からの経緯を振り返るとともに、地域の方々にこれまでのご理解とご協力に謝意を伝達。また、災害の記憶を伝承し、地域の安全を祈念する植樹を実施。（コロナ感染防止対策を実施の上、最小規模で開催）

【住民の声】住民の方々から「災害で九死に一生を得た住民も多々いたが、砂防堰堤の完成により土石流の流下が防止され、安心して暮らせるようになり嬉しい」との声も頂戴した。

○日時：令和4年6月23日（木） 09:15～11:25

○場所：栃木県日光市中三依地先

■完成式 日光市立三依小中学校 屋内運動場

■記念植樹 日光市芹沢地先（下坪上沢）

○主催者：日光砂防事務所、日光市

○来賓：6名〔日光市議会議長、観光産業常任委員長、日光市議会議員2名、日光土木事務所長、芹沢自治会長〕

○参加者：19名〔芹沢自治会7名、施工業者11名、日光砂防ボランティア1名〕

○報道関係：〔テレビ2局〕・NHK宇都宮(6/23「とちぎ630」放送)

・とちぎテレビ(6/23「イブ6プラス」,「けいニュース9」夕・夜2回放送)

〔新聞6社〕・読売新聞・下野新聞・日刊建設通信新聞

・日刊建設工業新聞・日本工業経済新聞・日本建設新聞

### 【開催概要】



■芹沢地区土石流災害復旧完成式

#### ①主催者



日光砂防事務所長



日光市長

#### ②来賓



日光市議会議長



日光土木事務所長

#### ③災害・復旧の振り返り



日光砂防副所長(技)

#### ④施工業者代表



斉藤建設(株)代表取締役

#### ⑤地元代表



芹沢自治会長

#### ⑥獅子舞披露



三依地区伝統芸能  
三依小中学校  
児童・生徒見学

#### ■記念植樹



下坪上沢砂防堰堤  
自治会長

事務所長  
市長

しだれ桜

芹沢拠点の工房が流木を素材に製作縁起物のフクロウ(舞台オブジェ)



市長、自治会長との植樹



日光市藤原行政センター所長

### 【完成式挨拶要旨】

#### [1 主催：村松事務所長]



芹沢地区の土石流災害により負傷された方、家屋の倒壊等の被害に見舞われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。大きな災害にも係わらず、亡くなった方がいらっしゃらなかったのは本当に幸いであった。

既に砂防堰堤が設置されていた田茂沢では、堰堤が土石流をすべて捕捉し、下流への被害を完全に防ぐことができ、効果を遺憾なく発揮した。

被害が発生した6つの溪流において7つの砂防堰堤が完成したため、今後は平成27年と同様の土石流が発生した場合でも、土石流が居住区域まで流下するのを阻止できるようになったことから、住民の皆様の安全性が格段に向上した。

近年では想定外の大災害が頻発しているため、住民の皆様ににおかれましても、常に警戒を怠らず、早めの避難を心がけて下さい。

私共も残る芹沢本川の改修などを鋭意進め、更なる安全向上を目指します。

#### [2 主催：粉川日光市長]



災害直後、私も現地を調査し、土石流災害の爪痕が壮絶だったことを痛切に記憶しています。市では住民の安全を第一に、避難所の開設などを直ちに実施し被害拡大に備えた。

更に災害が大規模であったため国及び県に復旧及び支援の要請を行った。

芹沢へ通じる国道が通行不能となったが、日光土木事務所の迅速な対応により交通が確保され、芹沢の復旧を早期に進めることができました。

日光砂防事務所においては、被災状況や再度災害の危険性など専門的技術を要する調査を災害直後から実施され、また、地区内の道路啓開や応急復旧を迅速に実施された。更に抜本的な土石流対策を推進された。

芹沢地区の市民の安全が大きく向上したことは市長としても喜ばしく、日光砂防事務所に感謝する次第です。

日光市は市民の皆様の安全・安心を第一に行政に努めて参ります。

#### [3 来賓：田村議長]



災害発生直後から、市と日光砂防・日光土木の連携のもと、地元の方々のご理解・ご協力を賜り、工事関係者の努力により、早期の道路復旧や砂防堰堤の緊急工事が実施された。

昨年7基の砂防堰堤が完成したことで、住民の方々が安心して暮らせる環境が整った。

災害発生後、日光市議会では「台風第18号等による被害調査特別委員会」を設置し、災害復旧に向け市長へ緊急要望書を提出し、その後、今後の防災対策について提言を行った。

日本各地では大雨被害が相次いでおり、防災意識の向上や防災対策への取り組みがますます重要である。

市議会としても、議員24名が一丸となり執行部と連携し、安心・安全な地域づくりに努力する所存です。

#### [4 来賓：松本(土木)所長]



当時、芹沢地区周辺は甚大な被害を受け、国道などにおいても、複数の箇所ですり崩れが発生し、通行止めとなった。

地域の安全を早急に確保するため、土石流災害対策は高い技術力を有する日光砂防にお願いし、国道などの対応は当事務所にて行った。

日光砂防において、災害現場の応急対応や調査などを迅速に行われ、その後の復旧事業も事務所を上げて進められた。本日、完成式を迎えることができたこと、心から御礼申し上げます。

近年、甚大な災害が頻発しており、令和元年10月台風では県内に大きな被害が発生した。

被害を最小限に止めるためには、日頃から国、市、県が準備を進めるとともに地域の共助、自助による地域防災力の強化が不可欠である。

本復旧事業に携わった全ての方々への感謝と残りの工事が早期に完成することを祈念し、挨拶とします。

#### [5 業者：斉藤代表取締役]



去る平成27年8月20日より、ウドン沢堰堤工事に着手以来1年6ヶ月に渡り工事を行った。間もなく関東・東北豪雨に見舞われ、濁流が川を覆いつくし、沢という沢から土砂が流出し、その光景を見たとき愕然とした。

芹沢地区復旧に人員を割けない状況だったが、知り合いの建設業者から協力が得られ、復旧作業の目的がたった時は、本当に安堵した。

それ以降、市道芹沢線復旧を早期に終えたが、続く応急対策工事では、大量の資機材調達に大変苦心した。また、携帯電話は国道まで出なければならず、それを何回も繰り返した。

苦心を要したが工事を完成させることができた。これも地域の方々と関係者のご協力のお陰です。

住民の方々が帰宅する事ができた時、お礼を言われた事がなにより嬉しく、これからも「地域の守り手」として頼りになる建設業を目指していきます。

#### [6 来賓：渡邊自治会長]



当時、9日の昼過ぎから1時間に50～60mmの雨が降り続き、10日の1時半ごろ大規模な斜面の崩落・増水による浸水被害や家屋の倒壊など壊滅的な被害を受けた。

あるところでは、土石流で家は破壊されたが、子供の家に泊まりに行き助かった人、傾き始めた家から屋外に飛び出して難を逃れた人、落ちてきた物がベッドボードに引っかかり助かった人、暗闇の中、隣人の誘導で助かった人たちも居て、犠牲者が出なかったのが奇跡だと思った。

そのような中で復旧作業や砂防堰堤の設置に尽力された日光砂防、日光土木、日光市並びに斉藤建設をはじめとする施工業者の方々に住民を代表し感謝申し上げます。

砂防堰堤は完成したが、自分の身は自分で守る自主防災意識を高めて参りたい。